

第2回国際スポーツ ボランティア 育成プログラム

▶開催日程

8月4日 土・5日 日 2日間

▶開催目的

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックなどの国際大会におけるボランティアとして活躍するための 教養・知識を身につける。
障害のある人へのサポート方法などを 実技を通して学ぶ。

▶開催場所

筑波大学※東京キャンパス 134教室・筑波大学附属中高等学校内 ※桐陰会館

▶対象

高校生・大学生
(定員120名)

▶修了証

全日程出席者に修了証を発行
スポーツボランティア申込みの際、研修履歴に活用できます

▶受講料

高校生；3,000円(税込)
大学生；5,000円(税込)

教育プログラム
[よい、ドン!]



メッセージと主な取り組み

筑波大学
学長

永田 恭介

筑波大学は'Imagine the Future.'をスローガンに、未来志向の研究及び人材養成を進めています。

筑波大学に根ざす人材育成マインドは「師魂理才」と表現されます。

これは、親や先生のように人に接する心や人々をまとめる力を持ち、かつ合理的な問題解決能力を持つことを意味します。

この能力は、スポーツのメガイイベントのボランティアにこそ求められる資質でしょう。

多様な人々が世界中から集まってくるイベントでは、どのようなトラブルが起こり、どのような要求が出されるかわかりません。

それに適切に対処する能力を身につけていただくために、ボランティア養成プログラムを始めることになりました。

アジア人初のIOC委員嘉納治五郎先生のレガシーを継ぐ筑波大学内外の講師陣による本プログラムを通して、この資質が広く、高く、発展することを期待いたします。



筑波大学

体育系/教授
東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会
参与

真田 久

2020年までいよいよ2年になりました。

2020年に多くのアスリートとそのスタッフ、メディアそして観光客などが訪れます。

それらを通して日本の社会はどのように変わるのでしょうか？

この歴史的なイベントにどのようにすれば関わることができるでしょう。

その一つがボランティアとして具体的に関わることです。

このほど、オリンピック・パラリンピック教育で伝統のある筑波大学と数多くの大学を有する「文の京」文京区が共催し、ボランティア育成セミナーを開催することとなりました。

この講座を学習して意義ある2020年に活躍されますことを期待します。

本年4月、ローザヌメでT.バハIOC会長を表敬訪問した際、ボランティア育成はオリンピックのレガシーとして重要であるとお話をいただきました。

ボランティアとして、かけがえのない経験を、

2020年の歴史の証人になりましょう！



筑波大学

客員教授
グローバルマナー
スプリングス
代表

江上 いずみ

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲーム2021 関西と大きなスポーツイベントが3年続けて日本で開催されます。そのような大きな国際スポーツ大会において、ホスト国日本の国民としてどうあるべきかを学ぶ「おもてなし学」の授業を筑波大学ですすめています。

今回の育成セミナーでは、ボランティアとして活躍する皆様に「おもてなしの心」の極意とグローバルマナーをお伝えしたいという願いを込めて、カリキュラムを熟考しました。

言語・宗教・習慣・食文化・国民性の違いのみならず、年齢・職業や障がいの有無などを含めた多様性に応じて、自己を確立しつつ、他者を受容して、臆せず積極的に外国の方々をお迎えする方法を実践しながら学びたいと思います。

思いやりの気持ち、助け合い、譲り合い、心づかいの素晴らしさを評価されるマナー大国「日本」ですが、さらに2020年以降の国際社会を見据えた「おもてなしの心」と「心づかい」を皆さんで学びましょう。

筑波大学の取り組み



筑波大学とオリンピック・パラリンピック

筑波大学はオリンピック・パラリンピック総合推進室を設置し、オリンピックムーブメント、パラリンピックムーブメントの推進に協力しています。附属学校11校を持つ附属学校教育局とIOC公認のオリンピック教育プラットフォーム（CORE）により、オリンピック・パラリンピック教育の全国展開に関わって参りましたが、多様な価値を重視するダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）や、アダプテッド体育・スポーツ学の専門家と連携して、ボランティア育成プログラムを始めることになりました。

それぞれの第一線で活躍する講師によるプログラムにぜひ、ご参加ください。



文京区の取り組み



文京区

BUNKYO CITY



文京区はスポーツボランティア事業（平成27年度開始）を通じ、スポーツ振興に主体的に関わることでできるスポーツボランティアの育成に取り組んでいます。

障害理解への促進を目指したスポーツボランティア養成講座やバラスポーツ競技体験サポートを通じた実践経験の機会提供、オリンピック・パラリンピック事業での大会情報

（競技会場や競技種目の概要説明）の周知・啓発活動を契機に、東京2020大会のボランティア募集を目指し取り組む方々をサポートしています。



講師紹介

筑波大学教員



教授 真田久

東京生まれ。筑波大学体育専門学群卒、同大学院体育学研究科修了。福岡教育大学教員を経て、1996年より筑波大学教員。2012年より2018年3月まで体育専門学群長。博士（人間科学）。専門はオリンピック史とオリンピック教育。



教授 松原豊

筑波大学大学院体育学修了。専門領域はアダプテッド体育・スポーツ学。肢体不自由児・者に対する体育・スポーツ支援、児童発達支援、インクルーシブ体育、ダンスセラピーなどに関する教育研究の第一人者。



准教授 澤江幸則

筑波大学体育専門学群卒、同大学院修士、東北大学大学院博士（教育学）。アダプテッド体育・スポーツ学研究領域で、障害児の運動発達支援およびパラリンピック・ムーブメントと教育のあり方について、研究と実践を行っている。



客員教授 江上いずみ

筑波大学附属高校から慶大法学部法律学科卒。日本航空客室乗務員として30年に渡り国際線を乗務し、2013年7月に退社。同年11月、Global Manner Springs設立。14年より筑波大学にて講義を開始し、15年同大学客員教授就任。



助教 杉山文乃

筑波大学体育専門学群卒、同大学院博士前期課程修了。後期課程在学中。アダプテッド体育・スポーツ学領域で、主に自閉症児・者の余暇支援およびパラリンピック・ムーブメントについての研究と実践を行なっている。

ゲスト講師



文教大学 准教授 二宮雅也

宮崎県延岡市出身。筑波大学卒。同大学院体育学修了。スポーツ社会学を専門とし、日本財団ボランティアサポートセンター参与として東京2020大会ボランティア戦略策定に従事。組織委員会ボランティアアドバザリー会議アドバイザー。



ヨーコ・ゼッターランド

1969年アメリカ合衆国サンフランシスコ生まれ。12歳よりバレーボールを始める。1992年バルセロナオリンピック銅メダリスト（アメリカ代表）1996年アトランタオリンピック7位（〃）東京2020組織委員会 理事



ロービジョンフットサル日本代表キャプテン 岩田朋之

1986年生まれ。東京都出身。2012年夏にレーベル病を発病し、急激な視力低下で視覚障害者となる。筑波技術大学入学を機にF.C.SFIDAつくばに所属。2015年1月よりLVF日本代表主将を務める。2015年・17年には世界選手権に出場し、2018年、LVFクラブ「CA SOLUA 葛飾」を設立。



筑波技術大学 講師 福永克己

大阪大学工学部卒、奈良先端科学技術大学院大学修士（工学）、同博士（工学）。視覚障害学生に対して教鞭を執りながら、2010年よりブラインドサッカー日本代表のコーチを務めている。同代表GKに選抜された経験もある。

会場のご案内



丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 4分



丸の内線茗荷谷駅より徒歩10分
有楽町線護国寺駅より徒歩 8分

第2回カリキュラム&スケジュール

筑波大学東京キャンパス 134教室

8/4(土)1日目	講座テーマ	担当講師
9:00- 9:30	受付	
9:30- 9:40	開講式	
9:40-10:30	オリンピックの歴史と教育	真田 久
10:40-11:30	パラリンピックの歴史と教育	澤江 幸則
11:40-12:30	平昌2018オリンピックボランティア学生に聴く	ボランティア経験のある大学生によるパネルディスカッション
12:30-13:30	昼食	
13:30-14:20	スポーツボランティアに求められること	二宮 雅也
14:30-15:20	アスリートとボランティアのコミュニケーション	岩田 朋之
15:30-17:00	グローバルマナーとおもてなしの心 ～ホスト国日本のボランティアとして～	江上 いずみ
17:00-17:10	第2日目の連絡事項・会場確認	

筑波大学附属中高等学校内 桐蔭会館

8/5(日)2日目	講座テーマ	担当講師	
9:00- 9:10	2日目の流れ		
9:10-10:00	オリンピック・パラリンピック競技の特性	澤江 幸則	
グループ別講座	GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3
10:10-10:50	ブラインドサッカー 福永 克己 育鳳館	シッティングバレー 杉山 文乃 桐蔭会館大講義室	ボッチャ 松原 豊 桐蔭会館ホール
11:00-11:40	ボッチャ 松原 豊 桐蔭会館ホール	ブラインドサッカー 福永 克己 育鳳館	シッティングバレー 杉山 文乃 桐蔭会館大講義室
11:50-12:30	シッティングバレー 杉山 文乃 桐蔭会館大講義室	ボッチャ 松原 豊 桐蔭会館ホール	ブラインドサッカー 福永 克己 育鳳館
12:30-13:30	昼食		
グループ別講座	GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3
13:30-14:15	車椅子のサポート方法 池田 仁 育鳳館	視覚障害者ガイド 氣仙 有実子 桐蔭会館ホール	外国人とのコミュニケーション 筑波大学留学生 桐蔭会館大講義室
14:25-15:10	外国人とのコミュニケーション 筑波大学留学生 桐蔭会館大講義室	車椅子のサポート方法 池田 仁 育鳳館	視覚障害者ガイド 氣仙 有実子 桐蔭会館ホール
15:20-16:05	視覚障害者ガイド 氣仙 有実子 桐蔭会館ホール	外国人とのコミュニケーション 筑波大学留学生 桐蔭会館大講義室	車椅子のサポート方法 池田 仁 育鳳館
16:20-17:10	アスリートから学ぶ人間力	ヨーコ・ゼッターランド	
17:10-17:30	閉講式・終了証授与		
17:30	解散		

申込方法

右記「QRコード」から『第2回国際スポーツボランティア育成プログラム』開催要項ページへアクセスの上、お申し込みください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

【申込期間】 **5月28日(月)～7月27日(金)**

お問い合わせ先 筑波大学 東京キャンパス事務部

E-mail: intl_sports-volunt@un.tsukuba.ac.jp

